

だいさんきけんりつこうとうがっこうさいへんけいかく 第三期県立高等学校再編計画・前期実行計画 R6~R11 (案) について

〇栃木県教育委員会では、魅力と活力ある県立高校づくりを進めるために、「第三期県立高等学校再編計画（案）」を作りました。

〇将来の社会のすがたや子どもが減少している影響をふまえて、これからの県立高校のあり方を示しました。



県立高校の現在の様子と問題点

◆人によって、学校に行く目的がさまざまです◆

- 〇中学校を卒業した人の99%以上が高校などの学校に進学しています。
- 〇障がいのある人や外国語を主に話す人、不登校の経験がある人など、さまざまな人が通っています。

学校に通う目的や将来の希望がさまざまなので、生徒一人一人に合った環境を作ることが大切です。

◆子どもの数が減っています◆

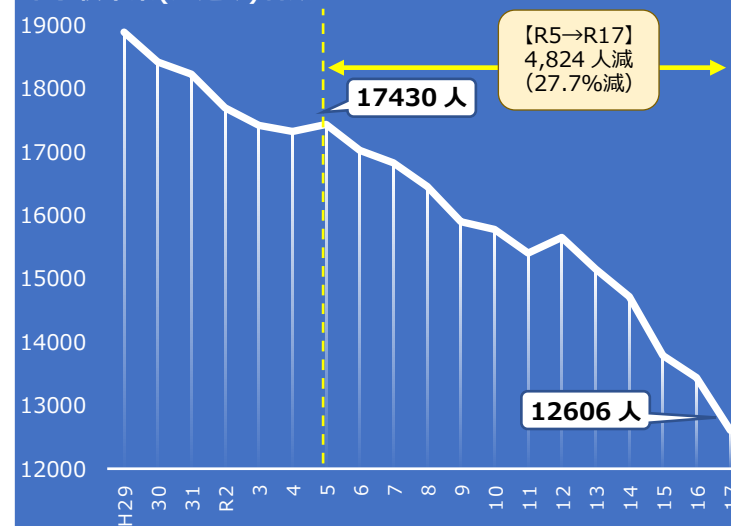
令和17年に中学校を卒業する人の数は、
令和5年に比べて4800人以上も少なくなります。

クラスの数が
少なくなります。

学校の活力が低下します。
先生の数も少なくなります。

学校の活力を維持できるように、
学校の統合などをおこない、学校規模（1学年あたりのクラス数）を保つ必要があります。

中学校卒業（見込み）者数



魅力ある県立学校づくり

◆特色ある学校づくり◆

未来共創型専門高校（仮）

未来の産業社会で活躍できる力を
身に付けます。

- 〇産業のスペシャリストになるための専門的な学習をします。
- 〇農業、工業、商業などの専門学科が連携した学習もあります。
- 〇ほかの学科の内容も学習できます。
- 〇地域や企業と連携して学習します。

中高一貫教育校

中学と高校の6年間を通して
学びます。

- 〇中等教育学校では、高校からの入学はなく、全員が中学と高校の6年間を一つの学校で学びます。
- 〇幅広い学年との交流ができます。
- 〇創造力やリーダーシップを身に付けます。

単位制高校

興味・関心や将来の希望に合わせて
自由に選べる授業が多くあります。

- 〇自分で選べる授業の種類が多くあります。
- 〇学習の到達度別に、少人数に分けた授業が多くあります。
- 〇一人一人が、自分に合った学習の計画を立てることができます。

フレックス・ハイスクール（フレハイ）

学習の時間帯や授業を選べる
定時制・通信制の高校です。

- 〇自分に合った授業を選択できます。
- 〇午前4時間または午後4時間の授業を選べます。
- 〇通常は4年間で卒業しますが、授業の数を多くすれば、3年間で卒業することもできます。

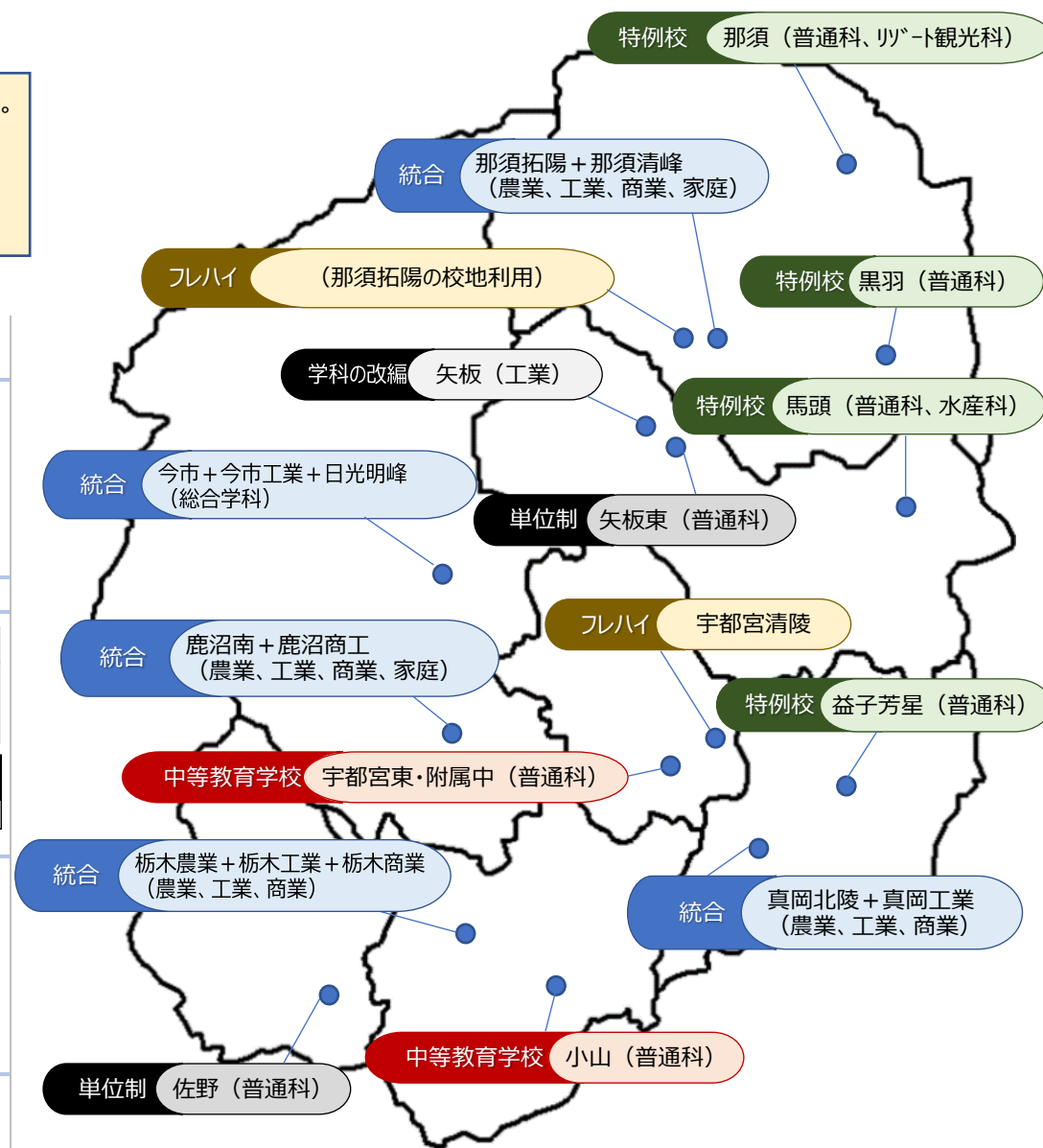
■ 活力ある県立学校づくり

◆ 県立高校の1学年あたりのクラス数◆

- 全日制の高校は、1学年あたり**4クラスから8クラス**がふさわしいと考えます。
- 通学が不便な地域にある学校は、**特例で2～3クラスで募集します**（特例校）。
- 大学への進学を目指す生徒が多い高校や、産業教育の中心となる高校は、ある程度クラス数を多くします。

▶▶ R6～R11の再編の内容（統合の欄の☆は校地として使用する高校）

	統合	未来共創型 専門高校	中高一貫 教育校	フレックス・ ハイスクール	特例校	その他
R6					2学級 那須 黒羽 馬頭 3学級 益子芳星	
R7						
R8						単位制 宇都宮東 佐野 矢板東 学科の改編 矢板
R9	★今市 今市 +今市工業 +日光明峰 ★鹿沼商工 鹿沼南+鹿沼商工		中等教育学校 宇都宮東・ 附属中	県央地域 宇都宮清陵		
R10	★栃木商業 栃木農業+栃木工業+栃木商業		中等教育学校 小山			
R11	★真岡工業 真岡北陵+真岡工業 ★那須清峰 那須拓陽+那須清峰			県北地域 新設		



◆ 男女共学化◆

後期実行計画における共学化の実施について検討します。

Q & A

Q：統合とうごうのメリットは何ですか？

A：統合で学校の規模きぼが大きくなると、先生の数が増えるので、多くの教科や科目から選択せんたくできたり、専門せんもんの先生による授業が受けられたりします。また、生徒の数も増えるので、学校行事ぎょうじや部活動ぶかつどうなどの活気が増します。

Q：統合で学校数が減ると、高校に入学しにくくなるのではないですか？

A：統合は、子どもの数が減るのに合わせて行いますので、高校に入学しにくくなるという心配はありません。

Q：統合によって、通学が不便になりませんか？

A：通学できる範囲に、統合になる学校の特色や伝統でんとうを引き継ぎ、新しい高校をつくれます。

Q：農業のうぎょう高校や工業こうぎょう高校、商業しょうぎょう高校を統合すると、これまでの農業や、工業、商業などの学びはできなくなるのですか？

A：引き続き、農業や工業、商業などを学ぶことができます。また、例えば農業科のうぎょうかの生徒が工業や商業の授業を選択できるようにするなど、幅広く学ぶこともできる新しい高校にしていきます。

Q：校舎こうしゃは新しくなるのですか？

A：授業じゅぎょうに必要な施設しせつを整備せいびしていきます。

Q：新しい学校の校名せいふくや制服はどうなるのですか？

A：同窓会どうそうかい、保護者ほごしや、地域ちいきの方々かたがたなどをメンバーとする委員会において、新しい学校にふさわしい校名などを、今後検討けんとうしていきます。